



元 気 通 信

～かけ橋～

ブダペスト日本人学校
学校だより 第10号
令和3(2021)年1月11日
校長 松丸 晴美

⑤うれしいことや ①あわせなことが

牛(きゆう)と詰まった3学期に

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の流行で、例年とは違った冬休みの過ごし方をされたご家庭も多かったと思いますが、皆様、健やかに新しい年を迎えられたことと思います。

1月6日(水)の始業日、明るく元気な子供たちの声や笑顔が校舎内に満ち溢れ、学校に活気が戻ってきました。「学校に行く」ことが当たり前だった日常が、当たり前ではなくなった令和2年でした。令和3年は、緑門の前で、登校してくる子供たちと朝のあいさつをかわし、一日の学校生活が始まるよう、強く願っています。

さて、始業式では、今年の干支の丑(子供たちには、「牛」という漢字で)にちなんで、小学生には「牛が、先を急がず、一步一步しっかり歩いていくように、自分の立てた計画や目標の実現に向かって、コツコツ努力を重ねていきましょう」という話をしました。

中学生には、今年の箱根駅伝を引き合いに出して、「どのような状況においても最後まであきらめないことが大切である。また、体力・気力・努力の3つの力を心にとめて生活してほしい。」という話をしました。話の結びは、こじつけのようですが、表題の話で締めくくりました。これを受けて、さっそく5年生の学級では、今日の学校生活を振り返り「うれしかったこと、しあわせを感じたことを連絡帳に書きましょう。」という取組を始めました。ちょっと中をのぞいてみると「友達5人で縄跳びができてうれしかった」「図工の作品が仕上がってうれしかった」「6年生を送る会の原案ができてうれしかった」など、友達とかわりあいながら、勉強や活動ができることのうれしさがつづられていました。

3学期は、2学期の授業日87日に比べ、46日ととても短いですが、各学年の総まとめをする学期です。新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら、充実した教育活動が実施できるよう努めて参ります。

保護者の皆様におかれましては、今年も本校の教育に対するご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【令和2年度修了式等の日程変更のお知らせ】

文部科学省より、日本において新型コロナウイルス感染症に対する水際対策として、入国日の翌日から起算して14日間の待機期間が設けられていることから、令和3年3月で任期が満了となる本校派遣教員の帰国日がかなり早まり3月10日(水)であると連絡を受けました。つきましては、3月8日(月)振替休業日を授業日(全日)に、修了式を3日繰り上げ、3月9日(火)に日程を変更いたします。この変更により、年間の授業日数は2日減りますが、法で定められている各学年の教科等の授業時間数は十分に満たしています。保護者の皆様には、年度末の日程が変更になりますことに対し、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。